

令和7年 11 月 26 日(水) 見学先:三宝精機工業株式会社 見学者:東部総合職業技術校

【出前講座の感想】

・社会基盤として製造や設計に目が行きがちな中、ものづくりを支える側として機械のお医者さんと名乗る心意気に魅力を感じました。

実際、各々の現場で扱いに困る工作機械やなくてはならない機械など多くあると思います。それらについて相談できる場所として大きな心の支えにもなっているように感じました。またレトロフィットによる状態改善やオーダーに合わせた塗装からも顧客に寄り添う姿勢と技術力の高さを見ることができました。

古き良き物から最新の機械まで幅広く扱う御社は多くの経験を積むことができ、視野も広がられると感じました。未経験からのスタートを見守って貰える魅力的な会社だと思います。

・今回の講話および会社概要説明を通して三宝精機工業が長年にわたり高い技術力と品質を追求し続けている企業であることを強く感じました。お客様の機械の修理が主な業務とのことで、時には難易度の高い業務をこなす時もある中で、社会や顧客のニーズの変化に合わせて業務をこなしている姿がとても印象的でした。

また社員の一人一人が修理する商品の担当を任せられ、役割に責任を持ち、成果を生み出す体制づくりを大切にされている点は、自分の今後の働き方を考える上でも大変参考になりました。会社としての規模や製品だけでなく人材育成や働く環境づくりに力を入れていることが伝わり、とても貴重な学びとなりました。

・三宝精機工業が長年にわたり培ってきた技術力と顧客満足を重視する企業姿勢を強く感じました。特に工作機械のメンテナンスやロボットエンジニアリングといった幅広い事業領域に加え「超再生プロジェクト」による品質向上への取り組みは単なるサービス提供にとどまらず、日本のものづくりを支える使命感が伝わってきました。

さらに精度を向上させて機械をロングライフ化するオーバーホールを支える技術力や機能・性能を向上させて生産性を高めるレトロフィットといった技術は、顧客にとって大きな価値を提供するものであり非常に印象的でした。

また創業から70年以上続く歴史と2万件以上のプロジェクト実績は、同社の信頼性と技術力の高さを裏付けており、強い印象を受けました。

【工場見学后感想】

・図面や取扱説明書などが無い中、手探りで模索する様子や新しい機械を取り付ける場面を見ることができ、新たな視点を得られたように思います。

社員の方々のやり取りを見て相談のしやすい風通しの良い現場だと感じました。洗浄の重要さや精度の高さを求められる製品の扱い(温度等)、パテなどを使用した機械の蘇らせ方など普段目にできない体験ができ、良かったです。

・製造業の様々な場面を支える工作機械たちも最終的な保守運用は人の手に委ねられているところが多いと私は思っています。

三宝精機の工場ではオーバーホールした部品を職人の方が丁寧に手で清掃しているところが印象的でした。ただ機械を預かっているだけでなく今まで使ってきた人、これから使っていく人たちの想いを大切にしているように感じられました。一方で、ただ修理するだけでなく、今後の運用も兼ねてクライアントとも交渉しながら預かった修理品には、自動化ソリューションも施してマニュアル工作機の NC 化、油圧から電気制御への改修も必要に応じて行うところに技術力の高さとサステナビリティへの貢献が見てとれると思いました。

また、修理修繕を業務の中核とする他方では、ロボットエンジニアリング事業でクライアントの問題解決の手伝いをしたり、伝統的な加工技術である「きさげ」の継承に力を入れるなど多様なビジネスモデルの一端が垣間見える工場でした。

・工場内はきれいに整理・清掃されていると感じました。工作機械はエリアごとに配置され、作業しやすい環境が整っていました。

一つの工作機械を一人が担当することで、責任を持って作業できることが印象的でした。さらに一人の担当者が複数の工作機械を掛け持ちしていることから、幅広い知識と高い技術力が求められる現場であると感じました。

また、3年ほどで作業を覚え同じように一人で作業ができるようになる指導力と離職率の低さに安心を感じました。

・私が御社の工場を見学させていただいた感想としましては、社員同士のコミュニケーションがしっかりと取れていることと、清潔感のある職場であると感じたことです。従業員同士が笑顔で話しているところを見て、ここは安心して働ける職場であると思いましたし、3年後の離職率も0%と職場環境の良さに目を引きました。

業務面においても個々の作業が多く、しっかりと自分の仕事に責任を持っているとも思いましたし、オーバーホールを主軸とする経営だけではなく新しく商品を作り上げることもやっていて、向上心の高さが見える工場見学だと思いました。